

市議会定例会令和5年8月通常会議

請 願 文 書 表

大 津 市 議 会

## 請 願 文 書 表 目 次

受理番号	件 名	付託委員会	ページ
請願第6号	「インボイス制度の実施の延期、制度の中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願	総務常任委員会	3
請願第7号	健康保険証の廃止をしないように求める意見書を政府に送付することを求める請願	教育厚生常任委員会	5

1. 受 理 番 号 請願第6号

2. 受 理 年 月 日 令和5年8月30日

3. 請 願 の 件 名

「インボイス制度の実施の延期、制度の中止を求める意見書」を政府に送付  
することを求める請願

4. 紹 介 議 員

杉浦 智子、林 まり、柏木 敬友子、小島 義雄、中川 哲也

5. 付 託 委 員 会 総務常任委員会

6. 請 願 趣 旨 別紙のとおり

## 【別 紙】

### [請願趣旨]

新型コロナ禍と物価高騰の影響により中小事業者の経営困難が続く下で、2023年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）が実施されようとしています。

このインボイス制度が実施されれば、インボイスの発行が出来る、出来ないで、これまで長い間一緒に苦勞して仕事を続けてきた取引先や外注との関係を壊してしまうこととなります。また場合によっては、一方的な取引排除や値引きの強要、そして中小業者には、新たな実務負担と納税負担を押し付けられることになり、中小業者・フリーランスは、廃業の危機に追い込まれかねません。建設業などでは、取引先に簡単に登録してとはなかなか言えません。これまで長い間一緒に仕事をしていた外注さんや業者仲間に消費税の課税事業者になってあらたな実務負担と納税負担を押し付けることになるからです。

いま中小企業団体をはじめ、税理士団体、文化・芸術団体、シルバー人材センターなど多くの団体やフリーランスのグループが「凍結」「延期」「見直し」を表明しています。新型コロナ危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小業者の存在が不可欠です。「税制で商売をつぶすな」の願いを込め、以下の事項を請願するものです。

### [請願項目]

1. インボイス制度の実施の延期、制度の中止を求める意見書を政府に送付していただくこと。

1. 受 理 番 号 請願第7号

2. 受 理 年 月 日 令和5年8月30日

3. 請 願 の 件 名

健康保険証の廃止をしないように求める意見書を政府に送付することを求める請願

4. 紹 介 議 員

杉浦 智子、林 まり、柏木 敬友子、小島 義雄、中川 哲也

5. 付 託 委 員 会 教育厚生常任委員会

6. 請 願 趣 旨 別紙のとおり

## 【別 紙】

### [請願趣旨]

現行の健康保険証を 2024 年秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化するマイナンバー法等改定案が第 211 回通常国会で成立しました。

しかし、健康保険証を廃止してマイナンバーカードの取得を事実上強制する事は、「申請に基づき個人番号カードを発行（交付）する」と定めた同法第 16 条の 2 及び第 17 条や憲法第 13 条（個人の尊重）に反しています。

健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードの申請・取得・管理・利用に困難を抱える人たちが公的医療保険から遠ざけられる危険があります。

他人の医療情報が誤ってひも付けされた事例も相次いで明らかにされており、生命にかかわる問題として不安が広がっています。

マイナ保険証を使うことでひも付けられる医療や健康など機微なプライバシーが企業の儲けに利用されるという問題も指摘されています。

こうした趣旨から、以下のことを請願します。

### [請願項目]

1. 健康保険証の廃止をしないように求める意見書を政府に送付してください。